

第4章 元北陸本線（福井～石動）

平成30年8月1日（水）からスタートした3泊4日の北陸本線の旅のプラン（営業キロ101,3km）は次の通り。猛暑の中、天や神のご加護を得て、石動（富山県）～金沢～福井までにある駅舎27全て踏破に成功。今回も有言実行でき達成感はひとしお。これで通算営業キロは9,763km（活動日数483日）となり、当面の1万キロの目標まで237kmとなった。同時に、47都道府県への足の踏み入れエリア目標も富山県と石川県が新たな県に加わり、38都道府県となった。因みに残る9エリアの県とは、秋田・山形・島根・鳥取・徳島・大分・宮崎・長崎・沖縄。



- ※1. 石動～倶利伽羅（あいの風とやま鉄道）→北陸新幹線の開業に伴い北陸本線から名称変更
- ※2. 倶利伽羅～金沢（IRいしかわ鉄道）→北陸新幹線の開業に伴い北陸本線から名称変更
- ※3. 金沢～福井（北陸本線）

第1章 旅プラン

○2018年8月1日（水）晴れ

輝き503号 大宮7時46分→ 富山 9時31分

富山 9時42分→ 石動 10時18分

石動～倶利伽羅～津幡～森本～東金沢～金沢（24.6 km）

東横イン金沢駅東口泊（076-224-1045）



○8月2日（木）晴れ

しらさぎ52号 金沢 5時00分 → 加賀温泉 5時26分

加賀温泉～動橋～粟津～小松～明峰～能美根上～小舞子～美川～加賀笠間
～松任～野々市～西金沢～金沢（42.3 km）

東横イン金沢駅東口泊

○8月3日（金）晴れ

しらさぎ4号 金沢 7時48分 → 加賀温泉 8時14分

加賀温泉～大聖寺～牛ノ谷～細呂木～芦原温泉～丸岡～春江～森田～福井（34.4 km）

東横イン福井駅前泊（0766-29-1045）



○8月4日(土) 晴れ

午前中、柴田神社の散策

サンダーバード 20号

福井 12時9分 → 京都 13時37分

のぞみ 29号 京都 13時50分 → 岡山 14時50分

マリンライナー43号 岡山 15時12分 → 高松 16時4分

ホテルN01 高松泊 (087-812-2222:)

○8月5日(日) ~ 8月6日(月) 晴れ 墓参り他

○8月7日(火) 晴れ

マリンライナー24号 高松 11時40分 → 岡山 12時32分

のぞみ 24号 岡山 12時52分 → 新横浜 15時54分

第2節 1日目：2018年8月1日(水)：石動～金沢 晴れ

かつての北陸本線とは、直江津から米原までの営業キロ 353.8 kmである。北陸新幹線の開業に伴い、次の4つの企業に分解された。

- ① 直江津から市振まで (59.3 km) が”えちごトキめき鉄道”
- ② 市振から倶利伽羅まで (100.1 km) が”あいの風とやま鉄道”
- ③ 倶利伽羅から金沢まで (17.8 km) が”IR いしかわ鉄道”
- ④ 金沢から米原まで (176.6 km) が北陸本線(存続)

このうち石動(いするぎ)から福井までの営業キロ 101.3 kmを三つの区間に分け、8月1日(水)～8月3日(金)の三日間で挑戦することとした。なお、直江津～糸魚川までの営業キロ 38.8 kmと敦賀から米原までの営業キロ 136.9 kmは既に踏破済である。



新宿駅



大宮駅



初日の8月1日(水)は石動から金沢(24.6 km)に挑戦する。石動駅到着に一番早い北陸新幹線”輝き”503号”(大宮発7時46分:全指定席)で富山まで臨む。このダイヤは本年6月長野～糸魚川の旅以来2度目である。富山まで長野のみ停車で東海道・山陽新幹線に例えると”のぞみ”に匹敵するだろうか。昨日オール富国会があり、北陸新幹線はうとうとして時間を過ごす。富山駅で”あいの風とやま鉄道”に乗り換え、車両の窓から沿線の風景を観察して、石動駅まで移動する。石動駅には10時18分到着する。



富山駅

工事中びため、この駅には駅舎の看板がないのにはビックリ。このような場面は、伊豆急で経験して以来2度目である。それ故、代わりの石動駅の表示で代用する。石動(富山県)から金沢までは県道または国道に沿って鉄道が続いており、道に迷うことなく歩くことができる。この区間の難所は、倶利伽羅峠越え。倶利伽羅駅が国道8号線から見えるのにも関わらず、倶利伽羅駅までの道のりは遠かった。1 km位回り道をしてやっと到着できる。少し遅い昼食(13時半頃)となったが、倶利伽羅源平の郷でのざるそばは火照った体を癒してくれた。津幡駅から森本駅への道のりは、高架した新幹線下の陰に沿って歩いたので多少なりとも暑さを凌ぐことができた。雨傘、濡れタオル、水分補給の3点セットで猛暑を乗り越え、18時22分、無事近代的な駅舎をもつ金沢駅に到着する。

石動から金沢までの営業キロ(24.6 km)の到着時間や特記などは次の通り。

石動(10時33分)～倶利伽羅(12時37分)～津幡(14時58分)～

森本(16時36分)～東金沢(17時40分)～金沢(18時22分)



車両から見る元北陸本線



石動駅



昨日はオール富国会があったのも関わらず、3時頃起床し準備。家内に南林間まで送ってもらう。本日は平日のため、南林間5時37分の快速急行で新宿まで移動。新宿6時32分発の川越行きの快速で大宮まで移動する。大宮駅には7時11分到着。この駅で30分位、待合室などで本日の作戦を練る。6月に引き続き、サンダーバードで富山まで移動。新幹線の中はうとうとする。富山駅で在来線に乗り換え、将来挑戦する富山～石動の道筋を観察する。富山駅から呉羽駅の間で丘があり多少歩きに苦勞するであろうと思ったが、その他の区間は主として水田地帯に沿った鉄道であった。10時18分に石動駅に到着する。



駅舎の表札がない石動駅

パスモが使用でき、660円を要した。駅前には北陸新幹線の工事現場があった。この駅舎名がないので駅員さんに尋ねるが、工事中の関係がなかった。それ故、石動駅という名称を別のアングルから代用する。あいの風とやま鉄道の看板をゲット。この駅で10分位種々のアングルからデジカメに収める。10時33分、石動駅前というバス停の看板を撮影し、国道471号線を歩く。10時36分、富山新聞の看板前を通過。この辺りは新幹線の線路は完成していた。



倶利伽羅トンネル

在来線を左手に歩く。11時1分、国道16号線(砺波小矢部線:小矢部市安楽寺)に入る。稲は間もなく収穫期を迎える位成長していた。11時11分、安楽寺神社で本日の安全を祈願する。ここ辺りか山道となる。11時13分、雨傘をさす。その限界で熊野出現の看板あり。11時33分、金沢25km、福井100kmの看板を目にする。11時36分、倶利伽羅トンネル(957

km) 前の到達。11時50分、このトンネルを出ると、石川県津幡町との表示があった。同時に新潟から297kmとの地点とあった。ここから橋が続く。

11時56分、赤い九折橋を通過。12時7分、倶利伽羅の合戦（火牛の図）の画像がある河内（かわち）橋を通過。12時13分、大岩橋を通過。12時18分、坂戸橋を通過。12時24分、左手下に倶利伽羅駅が見えるが、この駅への道筋が見当たらない。500m位歩いた先にこの駅方面に向かう道路があった。大きく回って、やっと12時32分鉄道の上を通過。そして、400m位鉄道に沿って戻った先に茶色系の駅舎である倶利伽羅駅（12時37分）があった。



河内橋



倶利伽羅駅



円柱のポストが印象的であった。寺尾夏祭りのポスターがった、この駅でトイレ休憩とタオルを水に浸す。この駅から少し先に刈安小学校があった。ここからは、国道に戻らず、鉄道の左側を歩く。12時54分、刈安橋を通過。12時57分、右手に貨物列車が通過して行く。12時57分、富田工業団地前（津幡町営バス）を通過。13時15分、倶利伽羅源平の郷に立ち寄り昼食と源平合戦倶利伽羅峠の戦い（1183年5月11日：寿永2年）での展示場を観光。この郷で30分位休憩したお蔭で、火照った体を冷やしてくれた。14時東荒尾バス停前を通過。14時5分、前方に北陸新幹線があった。この線路下を潜る。



倶利伽羅源平の郷



14時6分、屋代橋（橋長28m）を通過。14時20分、水色の橋を渡った先に石川工業高等専門学校（いしがわこうぎょうこうとうせんがっこう）の看板があった。右手に津幡駅（つばたえき）が見えるが線路を渡る踏切が見つからず。やっと14時52分、浅谷踏切（あさやふみぎり）を横切り、鉄道に沿って引き返した先に津幡駅（14時58分）があった。駅前には桃太郎橋（ももたろうばし）があった。15時13分、再度線路を越え鉄道の左側を歩く。16時7分、前方に新幹線（しんかんせん）があった。この下を潜り、影（かげ）を歩く。多少なりとも暑さを凌げる。16時17分、森下川橋（もりしたがわばし）（64歩:38m）を渡る。16時36分、新幹線に面した森本駅（もりもとえき）に到着。



石川工業高等専門学校

津幡駅



新幹線下を歩く

森本駅

ここから、東金沢駅には誤った路に進んだため、路地から路地への歩きとなり、何にもこの地元の人のお世話になる。17時2分、JR下を潜る。17時25分、163歩ある金腐川橋（かみかなかわ）を渡る。その先のセブンイレブン（金沢三池店）を左折した先に東金沢駅（17時40分）があった。このセブンイレブンでアイス購入。17時51分、階段を上り、鉄道に跨る幹線道路に出る。乙丸町交差点から鉄道の左側を歩く。18時13分、応化橋（おうけりばし）を通過。18時22分、金沢駅に到着。駅前を種々のアングルから撮影。東横イン（401号）には18時50分到着。汗を流したのちGOENに。



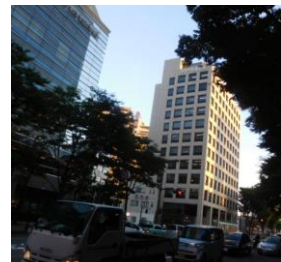
金腐川橋

東金沢駅

東横インでチェックインし、汗を流した後、ホテルのお薦めの漁師飯居酒屋”GOEN”(076-223-4150)で夕食とする。この店の谷店長と地酒と郷土料理を味わいながら色々旅の話をさせて頂く。本日の営業キロは24.6km、万歩計で32,692歩だった。充実した初日であった。



金沢駅への路



フコク生命ビル



金沢駅



GOENにて

第3節 2日目：8月2日（木）：加賀温泉～金沢 晴れ

北陸本線の旅の二日目は、金沢から始発のしらさぎ52号（米原行き）に乗りし加賀温泉まで移動する。当初は5時48分のしらさぎ2号であったが、本日は金沢から加賀温泉まで営業キロ42.3kmもあるので移動時間を前倒しにして対処する。これまでの経験から所要時間は14時間位要するだろうと予想したからだ。すなわち、移動時間を含め金沢に到着する時刻は20時頃になると。終点が賑かな地点でも周りが暗いと風景を堪能できないし、不案内による不安が付きまとうので……。40km越えへの挑戦は久しぶりである。これまでの最高は平成27年6月27日（土）に歩いた宗谷本線の天塩川温泉から名寄までの区間（45.3km）である。偶然にも最長記録更新以来となった。



金沢駅



加賀温泉駅



この季節、5時になると周りは明るい。風景を見ながら移動する。鉄道に沿った路筋もあれば、水田や民家などに覆われて道筋が見えないエリアもあった。川はあったが、幸いなことに山越えはなかった。感覚的には平坦なコースのため比較的歩きやすいコースと思ったが、動橋と栗津の中間点辺り（七曲り街道跡：加賀市と小松市の市境）で地図を途中ロストにより、歩くのに相当手間取る。一方では、カッシー館のトップページにあるように、

鉄道や電柱による”鉄道案内人”による歩きのため、ゲーム感覚での歩きをほぼ終日楽しむことができた。

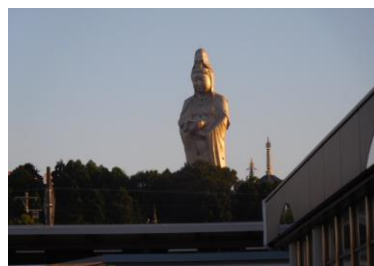
すなわち、加賀温泉（5時35分）～動橋（6時41分）～粟津（8時2分）

～小松（9時46分）～明峰（11時1分）～能美根上（11時45分）

～小舞子（13時11分）～美川（13時50分）～加賀笠間（15時2分）

～松任（16時35分）～野々市（17時38分）～西金沢（18時28分）

～金沢（19時41分）のコース（42.3km）である。

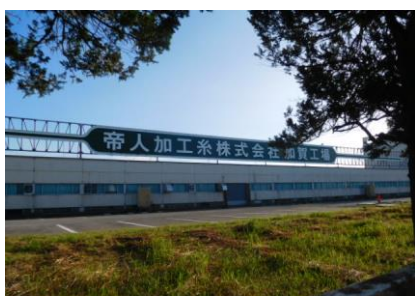


加賀温泉駅



大きな加賀大観音像（73m）が印象に残る加賀温泉駅には5時26分到着。北陸新幹線の工事もあり、ホームから改札口まで大回りを余儀なくされる。5分位少し福井方面に向かって線路を越えるかこのまま金沢方面に向かって線路を超えるか右往左往する。迷った結果、後者を選択する。歩くや否や、サングラスを着用しても太陽のまぶしさで前方の視界を遮られる。地図があったので、動橋までは順調に歩くことができる。小松市入口辺りで地図をロストにより、少しパニック状態になる。数年前の函館本線踏破（妹背牛駅に向かう途中）を思い出した。それに比べれば何とか歩けるだろうと自問自答する。しかし、粟津駅までは線路探しに骨が折れる。路地から路地の歩きとなったため、明峰駅も地元の人のお世話になり踏破できる。能美根上駅の踏破辺りで12時前となった。運よく駅前に食事処が

あったのでざるラーメンを注文する。団体客があったので少し食事まで時間を要したが。そのお蔭で火照った体を冷やしてくれた。美川駅手前の石川の酒と同じ名称の手取川（13時32分通過）は印象深い。美川大橋（万歩計で670歩）下には沢山のモーターボートが停泊していた。海まで500m位で見晴らしも中々のものだった。



帝人加工糸（株）加賀工場 動橋駅

加賀笠間駅から蒸気機関車がある松任駅まで（営業キロ4.4kmに93分要する）も相当手こずる。右往左往しながら、地元人のお世話になりやっとのことで16時35分到着する。金沢駅前に続き、松任駅前でも38年間お世話になったフコク生命ビルと対面する。この駅の踏破には苦労したが、感動また感動。野々市駅や西金沢も地元の人のお世話になり、やっと19時41分、金沢駅に到着する。本日も昨日に続き、猛暑の中での歩きとなったが、リュックを背負わず身軽な格好で歩けたこともあり、当初の目標を達成する。ホテルで汗を流した後、昨日お世話になった”GOEN”に向かう。昨日お話しさせて頂いた谷店長の他に、田井中代表とも旅の話を中心に石川県地酒”手取川”などを堪能しながら懇談させて頂く。本日も充実した一日を過ごさせて頂き、天や神に感謝の気持ちで一杯となった。

加賀温泉駅から金沢駅までのメモ帳からの記録は次の通り。

3時頃起床し、本日の歩きの準備をする。荷物はホテルに置いて身軽な格好で臨む。ホテルを4時半頃出る。辺りは真っ暗だった。金沢駅には4時39分到着。1番ホームで始発のしらさき52号（5時発米原行き）を待つ。自由席は5号車両と6号車両であった。朝早いので、5号車両には数名の乗客であった。途中、松任駅、小松駅に停車する。加賀温泉駅に近づくや否や加賀大観音像が見えて来る。加賀温泉駅には5時26分到着。北陸新幹線の工事のため、改札口まで大きく回った道筋であった。途中、風鈴と扇風機で涼しい空間になった。加賀温泉駅で右往左往するが、線路を越えない道筋を選択する。駅間の大通を歩く。この道を真っ直ぐ進めば小松に繋がるが、動橋駅や粟津駅には繋がっていない。どこで左折し、線路を渡り、鉄道の左側を歩くがポイントだった。太陽の日差しでサングラス

を着用しても眩しかった。6時4分、左折する。暫く歩くと鉄道下を括る道筋となる。6時6分、道橋という道路標識があった。ここで右折し、鉄道左側歩く。8時28分、道橋駅への看板がある。6時30分、帝人加工糸（株）加賀工場前からスロープになった道路に方向転換する。朝の電車の窓から記憶に留めて置いたのが功を奏した。このスロープを通じて鉄道の右側となる。段々と民家が多くなる、6時41分、動橋駅に到着する。6時51分、83歩ある道橋を渡る。7時1分、七曲り街道跡を通過。この辺りで大事な地図をロストする。7時18分、前方を特急電車が通過して行く。踏切を渡り、鉄道の左側となる。加賀市から小松市となる。地図のロスト気付く。辺りを見渡すが見当たらず。この瞬間、これから先の道中不安で一杯となる。しかし、その反面、ゲーム感覚での旅となり、筋書きのないドラマに遭遇する楽しみもあった。8時、四丁目踏切を横切り鉄道の右側を歩く。8時2分、栗津駅に到着する。駅前には小松短期大学の看板があった。腹痛を覚えたのでトイレ休憩。



北陸本線の車両（この界限で地図ロスト） 栗津駅

この駅から雨傘をさし、小松駅に向かう。8時34分、矢崎バス停前（小松バス）を通過。8時49分、三湖台バス停前を通過。9時1分、今江大橋（橋長31m）を通過。9時23分、鉄道沿線に近づく幹線道路に切り替え、鉄道沿いとなる。この界限の線路は高架になっているので暑さを少しでも和らげるため、鉄道の左側（9時30分）となる。少し気に入ったフレーズがあったのでメモする。「小さきは小さきままに/折れたときは折れたきままに」



今江大橋

小松駅 雷鳥

9時46分、やっと小松駅に到着する。駅前ですら少し滞在し、種々のアングルから撮影する。

小松空港へのバス停や勇仁智（弁慶富樫像）があった。朝早かったので“小松うどん”を賞味しようと思うが、残念ながらまだ営業時間前であった。10時1分、土居原ボンネット広場前にはかつてと特急の雷鳥が展示されていた。ここでも種々のアングルから撮影から撮影する。少しでも暑さを凌ぐため行けるとことまで高架下を歩く。10時23分、240歩ある小松大橋（梯川）を渡る。10時36分、大國神社前を通過。遠くから本日の安全を祈願する。近くに板津中学校前の看板があった。頭上を飛行機が通過して行く。10時48分、島田バス停を通過。路地から路地の歩きとなり、線路が見えないので何人もの地元の人のお世話に明峰駅を目指す。10時57分、線路が見えて安堵する。11時小松市立板津中学校前を通過、その先に明峰駅（11時1分）がある。



大國神社 明峰駅

福井方面の電車と特急が通過する時間帯であった。11時10分、黄金色になりつつある田園地帯を歩く。11時45分、能美根上駅に到着。駅前の食事処“むらもと”でランチタイムとする。火照った体を癒してくれる。私の歩きは、昼食時、自動販売機で水分の補給、番号、メモ以外は止まらないので、また、団体客があったので唯一長い休憩時間となった。この食事処前には能美市立病院があった。



能美根上駅 むらもと

30分位休憩して小舞子駅を目指す。12時48分、吉原踏切を横切り、鉄道の右側となる。12時51分、田園地帯を特急が通過して行く。路地から路地を歩き、13時10分、小舞子駅に到着する。丁度、金沢方面の特急が通過して行く。13時23分、JR下を潜り国道に出る。

鉄道の左側を歩く。



小舞子駅

13時22分、670歩ある美川大橋（手取川）を通過する。この橋に暫く留まり種々のアングルから撮影する。沢山のボートが停泊していた。歩きながら気付いたのであるが、この辺りは玄関が2重ドアになっていた。13時50分、美川駅に到着する。



手取川（石川県の地酒でよく飲む日本酒と同一名称）

美川駅



笠間の道路標識

セミの声



加賀笠間駅

この駅は観光施設もあったので立ち寄る。14時5分、美川文化会館前を通過。近くに平成橋があった。14時11分、手取町という表示の電信柱前を通過。田園地帯を歩く。線路から遠ざかり不安となる。14時34分、笠間という地名の道路標識を見つけ安堵する。14時37分、座間市の花ひまわりをデジカメに収める。14時41分、木陰から夏の風物詩の一

つであるセミの声を耳にする。14時52分、枝豆畑前を通過。14時55分、加賀笠間駅看板がある。15時2分、加賀笠間駅に到着する。



フコク生命ビル



松任駅 D51形822号蒸気機関車（松任駅前）

15時19分、宮保交差点で右往左往するが、左折する。ここから迷路また迷路を歩く。15時57分、新幹線に沿って在来線の線路が見えるが、この線路を渡るべきか否か迷う。決断した結果渡らず進む。何人もの人のお世話になり、松任駅への道筋が分かる。16時21分、相川踏切（そうご）を横切り、鉄道の右側となる。16時31分、フコク生命ビル前を通過。16時35分、やっと松任駅に辿り着く。加賀笠間駅から長い道のりだった。駅前には色んな展示物があった。その中でD51形822号蒸気機関車が印象に残った。



野々市駅への看板 野々市駅

ここから野々市駅は比較的にスムーズに進むことができる。野々市駅には17時38分到着する。高架した線路下を歩く。17時51分、野々市市から金沢市となる。18時7分、五

郎虫橋を渡る。18時26分、北陸鉄道の線路を横切る。18時28分、西金沢駅がある。



西金沢駅前



西金沢駅来

18時40分、67歩ある橋を渡る。18時45分、北陸鉄道の西泉踏切を通過する。19時21分、万歩計で169歩ある御影（みかげ）大橋を渡る。19時21分、丸亀製麺があった。19時32分、東横イン前を通過。19時41分、金沢駅に到着。ホテルで汗を流した後、昨日通ったGOENへ。本日の営業キロは42.3km、久しぶりに8万歩を超え、80,349歩となった。



丸亀製麺



金沢駅



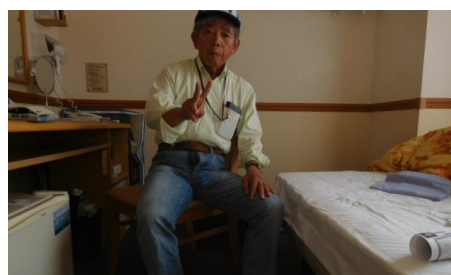
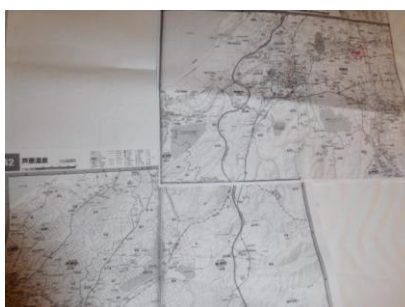
東横イン

第4節 3日目：30年8月3日（金）：加賀温泉～福井

北陸本線の締めは、平成30年8月3日（金）、昨日のスタート点の加賀温泉駅まで特急しらさき4号（金沢発7時48分）で移動する。当初は5時48分のしらさぎ2号を考えていたが、昨日の疲れもあり、2時間遅らせる。それ故、ゆっくりホテルで朝食を摂り臨むことができる。昨夜マッサージをしたお蔭で多少なりとも足腰の筋肉疲労が回復したように思われた。昨日に比べ営業キロ42.3kmから34.4kmと8.8km短くなり、精神的にも肉体的にも負荷が軽減されると考えた。しかし、本日は沿線の風景を下調べもない上の歩きであったので、それなりに心身共に負荷を要した。

昨日栗津駅に向かう際地図をロストしたので、その夜東横インで加賀温泉から福井までの地図をコピーして頂く。この地図がなければ、本日の駅舎の踏破はできなかつたであろう。最初の大聖寺駅でも山間に入った関係で自分の歩いている位置が掌握できないまま、地元の人のお世話になり、やっとのことで到着できる。次の牛ノ谷駅も牛ノ谷交差点を右折しなければ、到達できなかつた。加えて、この交差点から1 km位金沢より引き返した先に牛ノ谷駅があつた。本年2月踏破した紀勢本線の樁駅の場面を思い出した。しかし、今回は牛ノ谷交差点まで引き返さず、鉄道に沿つた先に細呂木駅があつた。汗でボロボロになつた地図で細呂木駅が行けるかどうか何度も何度も確認する。周りは山間が続いてたからだ。もしかすると、この地点の決断を間違えれば、北陸本線のつたい歩きはできなかつた。運よく、郵便局の配送の方に出くわし、私の判断が正しいことを確認できた。

細呂木駅には13時到着。運よく駅前にカフェーがあり、この店で一服する。私と同年代のご婦人が4名おられ、旅の話を中心に30分位寛がして頂く。お蔭様で暑くなりつつあるか体を冷やしてくれたと同時に、これまでの旅ができたことに感謝の気持ちで一杯となつた。「その節は有難うございました。無事当初の予定通り、踏破できました。この場をお借りして厚く熱く感謝申し上げます。これからもカッシー館へのご愛好宜しく願ひします。」



ホテルで地図をコピーしてもらう

出発前の東横イン

北陸本線ではスポット毎に北陸新幹線の工事が進行していた。丁度私の鉄道つたい歩きのような作業で感動また感動。宇宙から見ると蟻のような細かな作業の積み上げで大きな作品になることを改めて勉強させて頂いた。芦原温泉（あわら）駅から丸岡までは、営業キロ4.2 kmしかないのにも関わらず2時間14分要する。地図がボロボロで道筋を正確に掌握できなかつたことと、北陸本線が水田に覆われて、鉄道に沿つた路筋を歩けなかつたからだ。ここでも何人もの地元の人のお世話になり、やっとのことで16時54分到着できる。このままの調子では21時を過ぎる恐れがあるため、ボロボロになつた地図を張り合わせ、春江駅、森田駅、福井駅への道筋を学習する。春江駅と森田駅は学習効果が作用し、春江駅には18時2分、森田駅には18時43分と辺りが明るいうちに到着できる。

しかし、最後の福井駅は暗くなりつつある道筋を誤り、とんでもない方向に進もうとしていた。運よくこれからジョギングしようとする女性と対面し、福井駅への方向を教えて頂く。10分位誤った進路を歩いていた。19時20分、万歩計で411歩ある九頭竜川（くずりゅうがわ）を渡り、福井駅方面に歩くことができる。辺りは暗闇のため、何人もの方のお世話になり、福井駅（20時33分）に到着できる。運よく、福井駅界限ではフェニックス祭りがあり花火を見ながら福井駅に向かうことができる。

東横イン福井駅には20時40分到着。汗を流したあと、ホテルのお薦めの”きはちらくはち”の居酒屋で地酒と郷土料理で本日の疲れを癒す。ここでも地元の方と旅を中心として話が盛り上がる。本日も、天や神に感謝のご加護に加え、沿線の方のお世話になり、有言実行でき感謝感激で一杯となった。



7:02	普通	福井	2
7:15	特急サンダーバード8号	大阪	1
7:19	普通	小松	5
7:26	普通	松任	3
7:48	特急しらさぎ4号	名古屋	1
7:54	普通	福井	3
8:05	特急サンダーバード10号	大阪	2
8:15	特急サンダーバード12号	大阪	1
8:18	普通	小松	3
8:29	普通	福井	3
8:48	特急しらさぎ56号	米原	1
8:55	普通	小松	3
9:04	特急サンダーバード14号	大阪	2
9:30	普通	福井	3
9:48	特急しらさぎ6号	名古屋	1
9:54	特急サンダーバード16号	大阪	2

金沢駅 特急時刻表

加賀温泉駅から福井駅まで（34.4 km）を通過のメモ帳からの記録は次の通り。

加賀温泉（8時28分）～大聖寺（9時46分）～牛ノ谷（11時57分）
 ～細呂木（13時）～芦原温泉（14時40分）～丸岡（16時54分）
 ～春江（18時2分）～森田（18時43分）～福井（20時33分）



金沢駅 加賀温泉駅

5時起床し、ホテルで朝食後、7時20分チェックアウト。ホテル界限や金沢駅界限をデジカメに収め、しらさぎ4号名古屋行きに乗車する。加賀温泉まで途中停車駅は小松のみであった。8時48分、加賀温泉駅に到着する。本日は迷わず、鉄道の左側を歩く。昨日と異なり、鉄道沿線も学習していない歩きだけに神経を費やす。歩き当初は曇り空で歩きやすかった。



大聖寺駅への路



新幹線工事



特急



山道



トンネル



菅生石部神社

8時43分、北陸新幹線工事現場を右手にする。線路のつなぎにはビル工事のように細かな足場を作ったの作業だけに相当の負荷をひしひしと感じた。8時52分、右手に特急が通過して行く。8時54分、大聖寺への道路標識がある。9時6分、JR線を跨ぐ道路を進行する。この進路が誤った。鉄道に沿った路筋があった。しかし、途中で下の道路に出る道はなし。山間を歩き、途中から左折する。9時12分、敷地洞門前に到達。うす暗いトンネルを通過する。9時18分、菅生石部神社前を通過。ここで遠くから本日の安全を祈願する。ここで現在地が分からなくなり地元の人を借りる。「真っ直ぐ進んだ先の2つ目の信号を右折したところにある」とのこと。9時20分、115歩ある大聖寺川を渡る。9時26分、石川県立大聖寺高校があった。9時46分、大聖寺駅に到達。



大聖寺川



大聖寺駅の標識



大聖寺駅

10時、第2花房踏切で特急が通過して行く。この踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。涼しい山間の陰の道筋を暫く歩く。10時18分、北陸新幹線の工事現場辺りで涼しい道筋は終了。10時19分JR下を潜り、10時31分国道8号線に合流する。熊坂南という交差点であった。暫く鉄道に沿った右側の国道を歩く。10時47分、山間となる。10時52分、JR下を潜り、鉄道の左側となる。右手の山間にはJR線路があった。11時3分、JR線はトンネルとなる。11時18分、福井26km、芦原11kmの道路標識がある。11時26分、福井県となる。11時23分、牛ノ谷交差点から右折する。



鉄道に沿った涼しい道



国道に出る



石川県と福井県の県境



牛ノ谷駅



方向性確認地点

11時25分、高速道路下を潜る。その先で歩く進路を誤り、200m位引き返す（11時42分）。500m位金沢方面に引き返す。11時45分、白山神社がある。11時51分、200m位先の山間を特急が通過して行く。牛ノ谷駅には11時57分到着。駅舎に入り種々のアングルからデジカメに収める。自動販売機で水分の補給をする。同時に濡れタオルも。先程迷った地点で、ボロボロになった地図で細呂木駅への道筋を確認する。12時24分、JR下を潜る。12時40分、27歩ある沢橋（観音川）を渡る。13時、細呂木駅に到着する。駅前のカフェで30分位休憩する。同じ位の4名のご婦人方の歩きを中心とした話で盛り上がる。アンパンとアイスコーヒは美味しかった。この店を出た先で大事な地図のロストに気付き10分位ロスタイムとなる。幸いなことに、道端にありホットする。



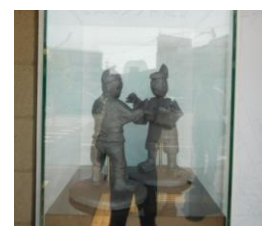
沢橋

細呂木駅



えきまえカフェのひと時

14時19分、北陸新幹線の高架橋現場前を通過。14時28分、あわら市学校給食センター食育スタジオ前を通過。14時36分、あわら市内に入る。14時40分、芦原温泉駅に到着。



北陸新幹線の工事現場

芦原温泉駅

狂金津地蔵

駅前には狂金津地蔵があった。15時2分、水色の浦安橋（99歩）を渡る。15時7分市姫4丁目を通過。その先に水田地帯の袋小路に入り、引き返す場面もある。15時17分、前方に雀の大群と対面。15時20分、稲越踏切を横切り鉄道の左側となる。ここから水田地帯のため大回りを余儀なくされる。15時35分、左手に新幹線の工事現場あり。鉄道から遠くなった水田地帯を歩く。ボロボロになった地図で現在地を確認するが、所要時間の割には丸岡駅に近づいていなかった。「これではまずい」と判断し、鉄道に近づく道筋に切り替える。結果は大成功。16時3分、北長屋バス停（京福バス）を通過、16時27分、パナソニックライティングシステム（株）前を通過。16時44分、東十郷小学校前を通過。ここからも数人に地元の人のお世話になる。16時34分、やっとのことで丸岡駅に到着する。駅舎に入りデジカメに収める。ごうちゃんキャラリーや丸岡城が印象に残る。この駅は依然、BSジャパンの“発見旅”で登場したので記憶に残っていた。このままでは福井駅到着が21時を過ぎる危機感にかられ、ぼろぼろになった地図で春江駅、森田駅、そして福井駅の道筋を吟味する。



水田による迂回



北長屋バス停



東十郷小学校

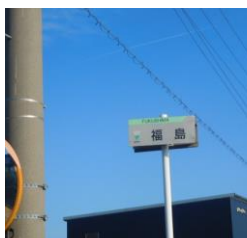


丸岡駅



17時17分、JR線を跨ぎ鉄道の右側を歩く。17時23分、福島新橋（兵庫川）を横切る。17時26分、福島の地名を通過。17時21分、葱（ねぎ）畑を通過。18時2分、春江駅に到着。18時17分、日の出踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。地図に沿った路に従い歩き、地元の人のお世話になり、18時43分森田駅にやっと到着。丁度、西日が駅舎の隙間から見えてくる。若者の姿があった。本日のフェニックス祭りの参加のためかも知れない。この駅舎の線路に沿った塀には小学生の描いたと思われる作品が沢山あった。18時50分、西日を

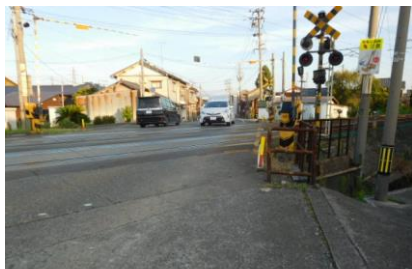
デジカメに収める。18時54分、白山神社前を通過。駅に沿った路筋でT路地になっており、右折か左折か迷う。迷った結果右折する。この判断が大きなあやまりであった。



福島という地名

葱畑

春江駅



踏切を横切る

森田駅

19時鉄道下を潜る。5分位歩いた先でこれからジョギングしようとする女性のお蔭で誤った方向に進んでいることが判明する。10分位ロスタイムが生じたが、大切な助言を頂き感謝また感謝。19時20分、九頭竜歩道橋を渡る。暗闇のため、疑心暗鬼で進む。大事な要所所で地元の人と対面した際、今歩いている道筋が福井駅に到達できるかどうか確認しながら進む。

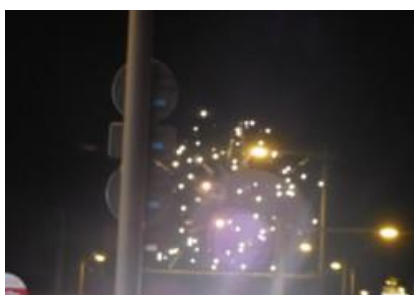


森田駅

白山神社

九頭竜歩道橋

最終的には真っ直ぐ歩き、高架した線路を右折した先に福井駅はあるとのことであった。前方、花火が打ち上げられていた。この花火が福井駅への道筋であった。そういう意味では花道に沿って福井駅を目指すことになる。20時6分、えちぜん鉄道の踏切を横切る。福井駅に近づくに従って、花火見物を楽しむ市民が多くなる。20時33分、福井駅に到着する。東横インは駅間に面していた、ホテル（307号室）には20時40分到着。汗を流したあと、ホテルのお薦めの“きはららくはら”に向かい、本日の疲れを癒す。本日の営業キロは34.4km、万歩計は60,839歩であった。これで北陸本線444.8kmのうち、277kmを踏破（62.2%達成）に成功。近いうちに、北陸本線を踏破したいものだ。



フェニックス祭り（花火）

福井駅

第5節 4日目：8月4日（土）：観光&帰省

平成30年8月4日（土）、本日の午前中は予備日となった。天や神のご加護を得て、3日間汗をかいたお蔭でこのようなゆとりが持つことができる。感謝また感謝。すなわち、福井発12時9分のサンダーバード20号（大阪行き）までフリー時間が持てた。昨夜もマッサージをお願いし、足腰の疲れを緩和して頂く。朝ゆっくりホテルで朝食を摂り、9時頃チェックアウト。空き時間を利用し、福井駅から数分先にある柴田神社を参拝する。その後、恐竜王国福井駅周辺を散策する。残り時間は福井駅でゆっくり寛ぐ。仕事でも遊びでも早め早めに対応すべきであることを痛感した瞬間であった。



柴田神社



恐竜王国“福井駅”



福井駅

昨夜の居酒屋”きはちらくはち”



サンダーバードに乗車するや否や福井名物のいかめしで祝杯をあげる。京都までの停車駅は鯖江のみで爽快な気分で京都まで移動できる。うとうとしながら未踏破区間である福井から敦賀までを観察する。その中で鯖江から敦賀に向け、山間が続き踏破に相当手こずるだろうと予想された。この特急は湖西線周りのため数年前に踏破した湖西線の駅名が次々と登場し懐かしいひと時を過ごすことができた。



サンダーバード 20 号での祝杯、琵琶湖、京都駅

本日は家内と高松駅で待ち合わせ、街道歩きの達人高野光生氏とライオン通りの魚・旬菜「ととや」にて1年振りに旧交を温める機会を得る。高野氏は昨年11月街道歩きで日本縦断を達成された。日本縦断の踏破記録を拝見し、私にはない街道歩きの達人としての非凡さと緻密さを随所で感じた。それ故、同じ日本縦断した仲間として話はずきなかつた。この店を出るときは22時を回っていた。家内も同席してくれたので、楽しい会話は一層盛り上がった。楽しい楽しい夕食会であった。北陸の旅の締めとしても最高の一日となった。



ととやにて



稚内市役所/日本縦断達成者募集への応募関連資料より



高野氏から早速、今回の北陸本線の旅に関し心温まるメッセージを頂戴したのでご紹介いたします。

先日は、一年ぶりの再会、奥様も交え大変楽しいひと時をありがとうございました。歩き旅の話は尽きませんね。

北陸本線の旅のブログを拝見しました。この暑さの中、2日目3日目の歩いた距離や地図ロストのハプニングなどありながら、計画通り完歩されたことに感服しました。特にこの夏場42.3kmを計画することなどなかなか出来ません。そして実際に歩いたのは50

k mを越えていたのではと思われ、それをやり遂げた体力と気力の素晴らしさに、本当に頭が下がる思いです。暑い中、お疲れ様でした。

歩かれたルートは街道でいえば、旧北陸道（鳥居本から出雲崎）です。残念ながら小生はまだ歩いていません。（一部、直江津から出雲崎は北国街道で歩き済み）歩いてみたい街道ですが、距離が470 k mほどと長いので、全部ではなく部分的にでも歩ければと思います。

まだしばらく暑さが続くと思います。くれぐれもご自愛ください。